

小松市・加賀市地域 循環型社会形成推進地域計画

平成 27 年 12 月 策定

平成 29 年 12 月 変更

平成 30 年 11 月 変更

小松市・加賀市

小松加賀環境衛生事務組合

目 次

小松市・加賀市地域 循環型社会形成推進地域計画

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
(1)	対象地域	1
(2)	計画期間	1
(3)	基本的な方向	2
2	循環型社会形成推進のための現状と目標	3
(1)	生活排水処理の現状	3
(2)	生活排水処理の目標	4
3	施策の内容	6
(1)	生活排水対策の推進	6
(2)	処理体制	6
(3)	処理施設の整備	7
(4)	施設整備に関する計画支援事業	7
(5)	その他の施策	7
4	計画のフォローアップと事後評価	8
(1)	計画のフォローアップ	8
(2)	事後評価および計画の見直し	8
	添付資料1：現有処理施設の概要	10
様式1	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1（平成28年度）	11
	添付資料2：計画地内の施設の現況と予定（位置図）	12
	添付資料3：生活排水処理計画図	13
	添付資料4：指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ	14
様式2	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2（平成28年度）	16
様式3	地域の循環型社会形成推進のための施策一覧	17
【参考資料様式5】	施設概要（し尿処理施設系）	18
【参考資料様式7】	計画支援概要	19

小松市・加賀市地域 循環型社会形成推進地域計画

小松市
加賀市
小松加賀環境衛生事務組合

平成 27 年 12 月 24 日策定
平成 29 年 12 月 26 日変更
平成 30 年 11 月 30 日変更

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

- ◇ 構成市町村名 小松市、加賀市
- ◇ 面積 676.92 km²
- ◇ 人口 175,929 人（平成 30 年 4 月 1 日現在）

（内 訳）

市町村名	小松市	加賀市
面積 (km ²)	371.05	305.87
人口 (人)	108,358	67,571

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

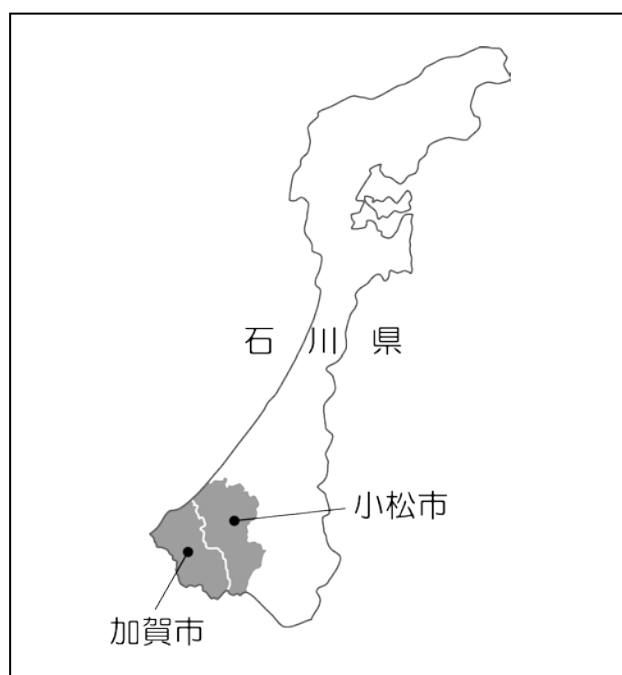


図 1-1 対象地域図

(2) 計画期間

本計画は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日までの 6 年間を計画期間とし、目標年度は、更新整備する汚泥再生処理センターの稼働開始年度の平成 34 年度とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

小松市・加賀市地域(以下、「本地域」という。)は、石川県南西部に位置する、面積 676.92km²の行政エリアであり、2市とも日本海に面している。本地域の東には霊峰白山がそびえ、南には大日山をはじめとする自然豊かな山々が連なっている。

小松加賀環境衛生事務組合(以下、「組合」という。)は昭和53年に設立され、構成市(現在は小松市、加賀市の2市で構成)の生活圏からの発生し尿等を適正処理するため、昭和56年3月に竣工した衛生センターし尿処理施設(施設規模:90kL/日)により処理を行ってきたが、処理量の増加や施設の老朽化に対応するために平成6年3月に施設更新・増設(施設規模:198kL/日)を実施した。

その後、下水道の普及等によりし尿等処理量が減少したため、平成23年度から旧施設である施設規模90kL/日部分の設備を休止し、施設規模108kL/日の施設として衛生処理を行ってきているが、増設施設についても稼働後20年以上が経過し、設備の老朽化が目立ってきているため、既存施設の一部を活用した新設を計画するものである。

なお、し尿処理施設の一部新設に当たっては、汚泥等の資源化有効利用を図るため、汚泥再生処理センターとして整備し、発生する汚泥は資源化設備により肥料化し、生産された肥料は本地域の住民へ販売して農作物栽培等に利用してもらうことで、有機性廃棄物の循環再生利用を促進し、本地域における循環型社会形成の推進を図るものとする。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 生活排水処理の現状

平成 26 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は、図 2-1 のとおりである。
生活排水処理対象人口（総人口）は、全体で 178,422 人であり、処理人口は 126,239 人、
汚水衛生処理率は 70.8%となっている。

し尿発生量は 2,226kL/年、浄化槽汚泥発生量は 33,104kL/年であり、全体で 35,330kL/年
となっている。

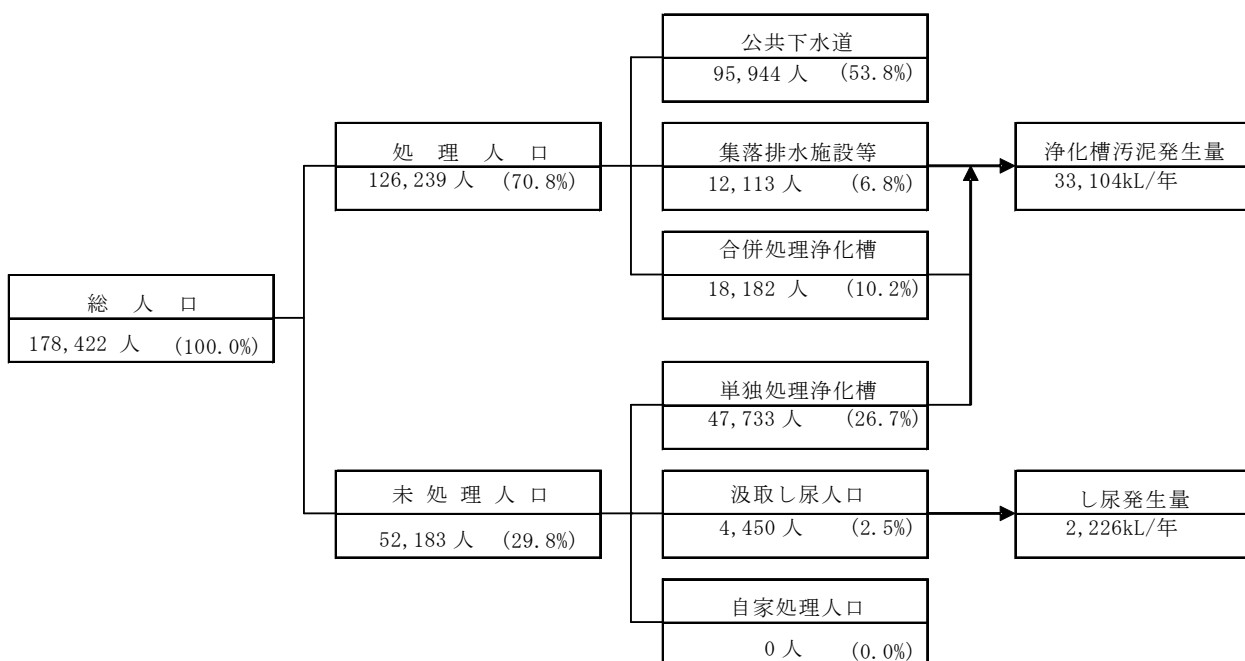


図 2-1 生活排水処理の処理状況フロー（平成 26 年度実績）

(2) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、表 2-1 及び図 2-2 に掲げる目標のとおり、公共下水道、集落排水施設等、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

参考として、添付資料 4 に指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

表 2-1 生活排水処理に関する現状と目標

		平成26年度実績		平成34年度目標	
処理形態別人口	公共下水道	95,944人	53.8%	95,932人	56.4%
	集落排水施設等	12,113人	6.8%	12,617人	7.4%
	合併処理浄化槽	18,182人	10.2%	19,392人	11.4%
	未処理人口	52,183人	29.2%	42,289人	24.8%
	合計	178,422人	100.0%	170,230人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿	2,226kL/年		1,835kL/年	
	浄化槽汚泥量	33,104kL/年		28,120kL/年	
	合計	35,330kL/年		29,955kL/年	

表 2-1(2) 生活排水処理に関する現状と目標（構成市）

小松市

		平成26年度実績		平成34年度目標	
処理形態別人口	公共下水道	61,115人	56.3%	67,099人	63.0%
	集落排水施設等	6,304人	5.8%	6,845人	6.4%
	合併処理浄化槽	11,563人	10.6%	11,608人	10.9%
	未処理人口	29,603人	27.3%	20,956人	19.7%
	合計	108,585人	100.0%	106,508人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿	1,588kL/年		1,254kL/年	
	浄化槽汚泥量	17,464kL/年		14,250kL/年	
	合計	19,052kL/年		15,504kL/年	

加賀市

		平成26年度実績		平成34年度目標	
処理形態別人口	公共下水道	34,829人	49.9%	28,833人	45.2%
	集落排水施設等	5,809人	8.3%	5,772人	9.1%
	合併処理浄化槽	6,619人	9.5%	7,784人	12.2%

	未処理人口	22,580人	32.3%	21,333人	33.5%
	合 計	69,837人	100.0%	63,722人	100.0%
し尿・ 汚泥の量	汲取りし尿	638kL/年		581kL/年	
	浄化槽汚泥量	15,640kL/年		13,870kL/年	
	合 計	16,278kL/年		14,451kL/年	

注：四捨五入により合計が合わない場合がある。

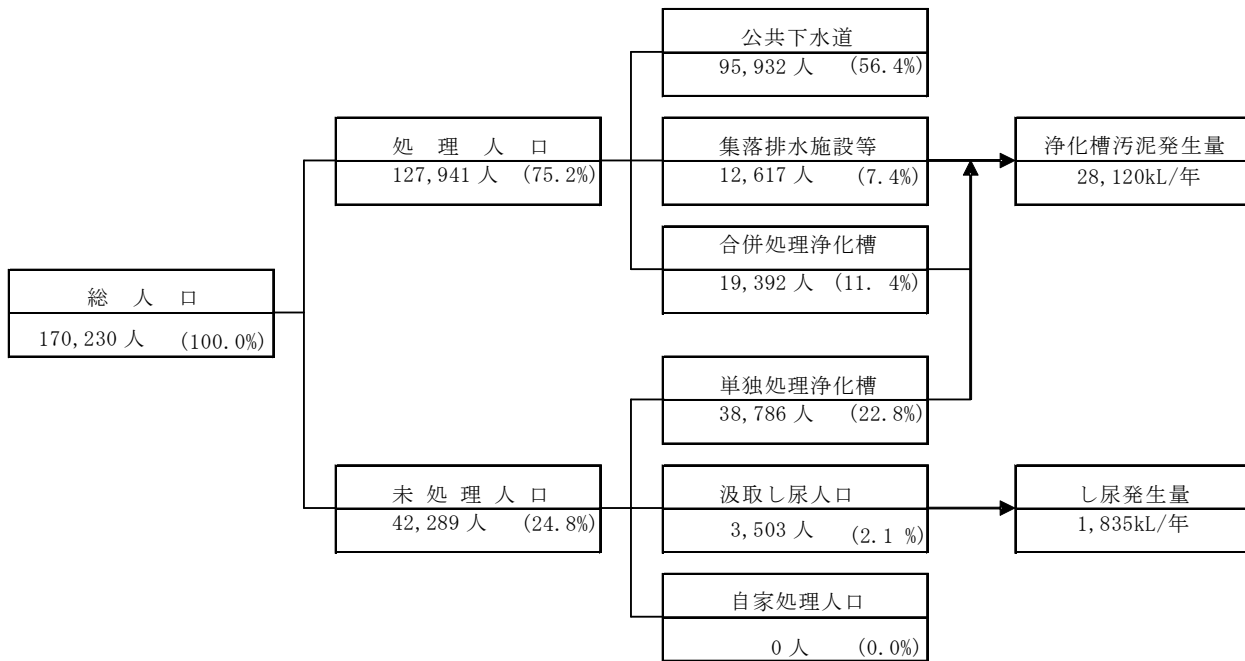


図 2-2 生活排水処理の処理状況フロー（平成 34 年度目標）

3 施策の内容

(1) 生活排水対策の推進

ア 住民意識の高揚【事業番号 11】

構成市は家庭等からの汚濁負荷量の削減のために、公共用水域の水質汚濁の現状と、その原因の一つが各家庭から排出される生活雑排水等にあることをホームページ、パンフレット、ポスターや広報紙等で示し、住民の排水処理に係る意識を高める。

イ 住民参加の生活排水処理対策を促進【事業番号 12】

構成市及び組合は生活排水の汚濁物質削減方法として、廃食用油を回収する廃油ポット、調理くずを回収する三角コーナーや微細目ストレーナ、廃食用油を拭き取るキッチンペーパー等の有効な手段を住民環境イベント等で周知し、住民参加の生活排水処理対策を促進する。

(2) 処理体制

ア 生活排水処理の現状と今後【事業番号 21, 22】

本地域全体において生活排水未処理人口（単独処理浄化槽を含む）がまだ3割以上いることから、各構成市では、生活排水の適正処理の推進のため、生活排水処理基本計画の施策に沿って整備を進める。

公共下水道及び農業集落排水の処理区域について、早期の接続を指導して接続率向上を図り、公共下水道等の処理区域外の地域については、合併処理浄化槽の整備を行う。（事業番号 21）

し尿及び浄化槽汚泥（農集排汚泥を含む）等については、現在、組合のし尿処理施設において処理し、生じた汚泥を脱水・乾燥処理しているが、今後は肥料化を行い、再生利用を進める。（事業番号 22）

イ 今後の処理体制の要点

今後の処理体制に係る要点は、次のとおりである。

- ◇ 組合の既存のし尿処理施設を活用して、汚泥再生処理センターを一部新設して、施設維持管理上の効率化を図りつつ、し尿及び浄化槽汚泥（農集排汚泥を含む）等の処理を行う。
- ◇ 汚泥再生処理センターでは、発生する汚泥を肥料化し、資源循環型社会の構築を推進する。

(3) 処理施設の整備【事業番号 1】

廃棄物処理施設

上記(2)の処理体制で処理を行うため、表 3-1 のとおり、必要な施設整備を行う。

表 3-1 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	有機性廃棄物リサイクル推進施設 (汚泥再生処理センター)	汚泥再生処理センター整備事業	95kL/日	石川県小松市 浜佐美町ヲ 15 番地	H30～33

※現有処理施設の概要を添付（添付資料 1）

(整備理由)

事業番号 1 既存施設の老朽化（竣工後 21 年:H27 現在）、し尿処理汚泥再生利用促進のため処理する汚泥を脱水・乾燥処理し、肥料化を行い再生利用を進める。

(4) 施設整備に関する計画支援事業【事業番号 31】

(3)の施設整備に先立ち、表 3-2 のとおり計画支援事業を実施する。

表 3-2 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	汚泥再生処理センター整備(事業番号 1)に関する計画支援事業	施設整備基本計画 見積仕様書作成 見積設計図書審査 発注仕様書(要求水準書)作成 事業者選定支援 生活環境影響調査 技術支援 等	H28～H30
		測量	H28
		地質調査	H28

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

浄化槽の適正な維持管理【事業番号 41】

構成市は浄化槽管理者等に対し、適正な保守点検・清掃の実施、定期検査の受検等の重要性を理解・浸透させていく。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

小松市、加賀市では、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて石川県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価および計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

(添付書類一覧)

◎ 循環型社会形成推進地域計画

添付資料 1 : 現有処理施設の概要

○ 様式 1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 30 年度)

添付資料 2 : 計画地内の施設の現況と予定 (位置図)

添付資料 3 : 生活排水処理計画図

添付資料 4 : 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ

○ 様式 2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成 30 年度)

(地域内の計画事業を年度ごとにまとめたもの)

○ 様式 3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

◇ その他参考資料として以下のものを添付。

使用する様式	対象とする施設整備、事業
参考資料様式 5 施設概要(し尿処理施設系)	有機性廃棄物リサイクル推進施設(汚泥再生処理センター)の新設(既存施設一部利用)
参考資料様式 7 計画支援概要	汚泥再生処理センター整備に関する計画支援事業 ・施設整備基本計画策定・発注支援業務・測量 ・地質調査 ・生活環境影響調査 ・技術支援

添付資料 1 現有処理施設の概要

[し尿処理施設]

名 称	小松加賀環境衛生事務組合 衛生センター
所在地	石川県小松市浜佐美町ヲ 15 番地
竣工年月	平成 6 年 3 月 (108kL/日施設), 昭和 56 年 3 月 (90kL/日施設)
供用開始	平成 6 年 4 月 (108kL/日施設), 昭和 56 年 4 月 (90kL/日施設)
処理能力	稼働中:108kL/日、休止中:90kL/日
処理方式	標準脱窒素処理方式+高度処理方式

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 30 年度)

1. 地域の概要

(1)地域名	小松市・加賀市地域	(2)地域内人口	175,929人	(3)地域面積	676.92km ²
(4)構成市町村等名	小松市、加賀市、小松加賀環境衛生事務組合	(5)地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(5)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況					
①組合を構成する市町村：小松市、加賀市			②設立年月日：平成 53年12月1日 設立 許可予定		

2 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力(単位)	
小松加賀環境衛生事務組合 衛生センター (し尿処理施設)	小松加賀 環境衛生 事務組合	標準脱窒素処理方式 +高度処理方式	有	108kL/日	平成 6 年 4 月	平成 33 年 3 月 (予定)	施設老朽のため 一部既設利用し て新設	標準脱窒素処理方式 +高度処理方式	平成 34 年 3 月	95kL/日	新設施設は平成 33年4月から稼働 し、現有施設の一 部撤去及び肥料保 管ヤードの整備を 経て平成 34 年 3 月に竣工する。

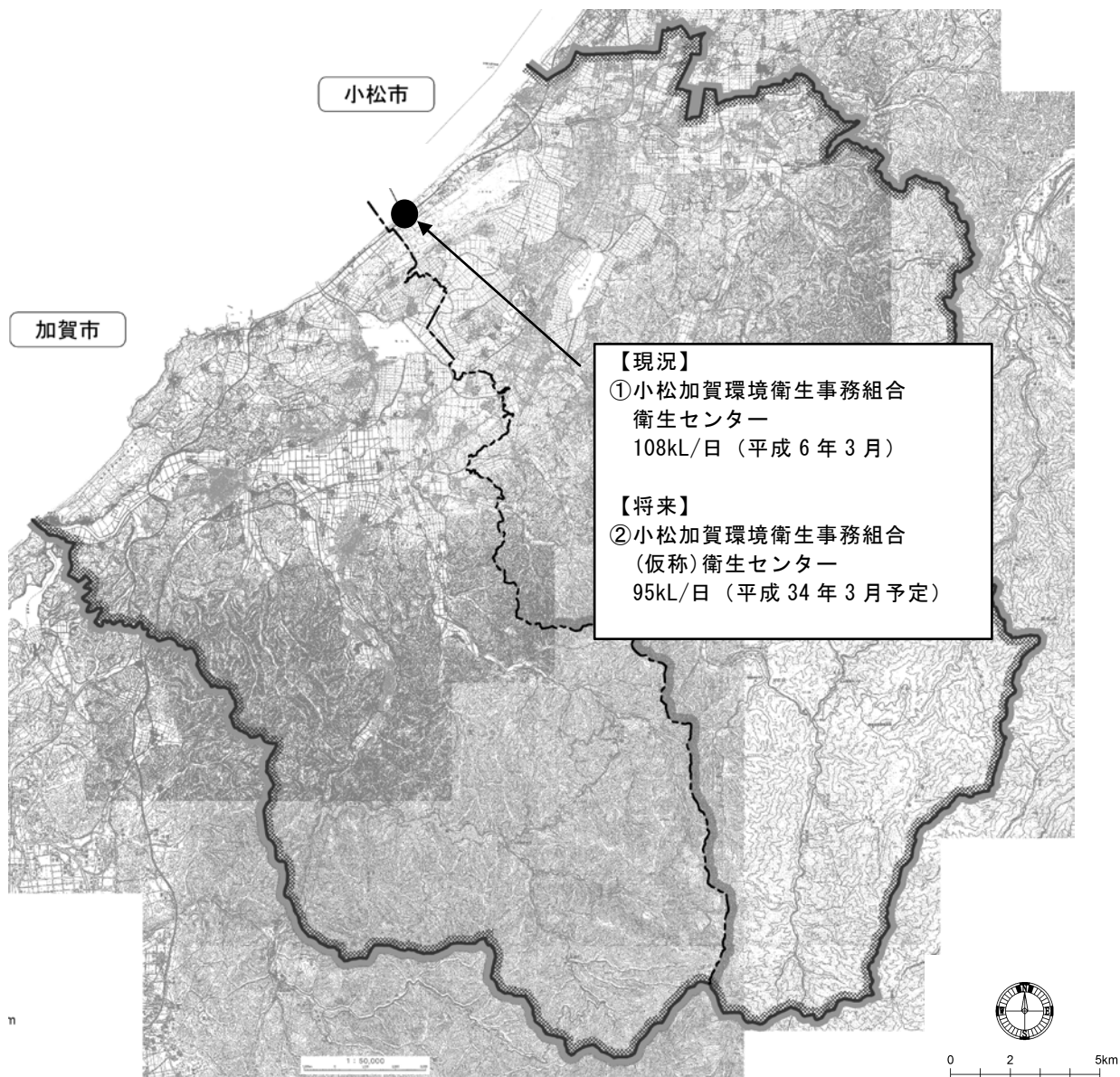
※ 計画地内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものと及び生活排水処理計画図を添付した。(添付資料 2, 3)

3 生活排水処理の現状と目標

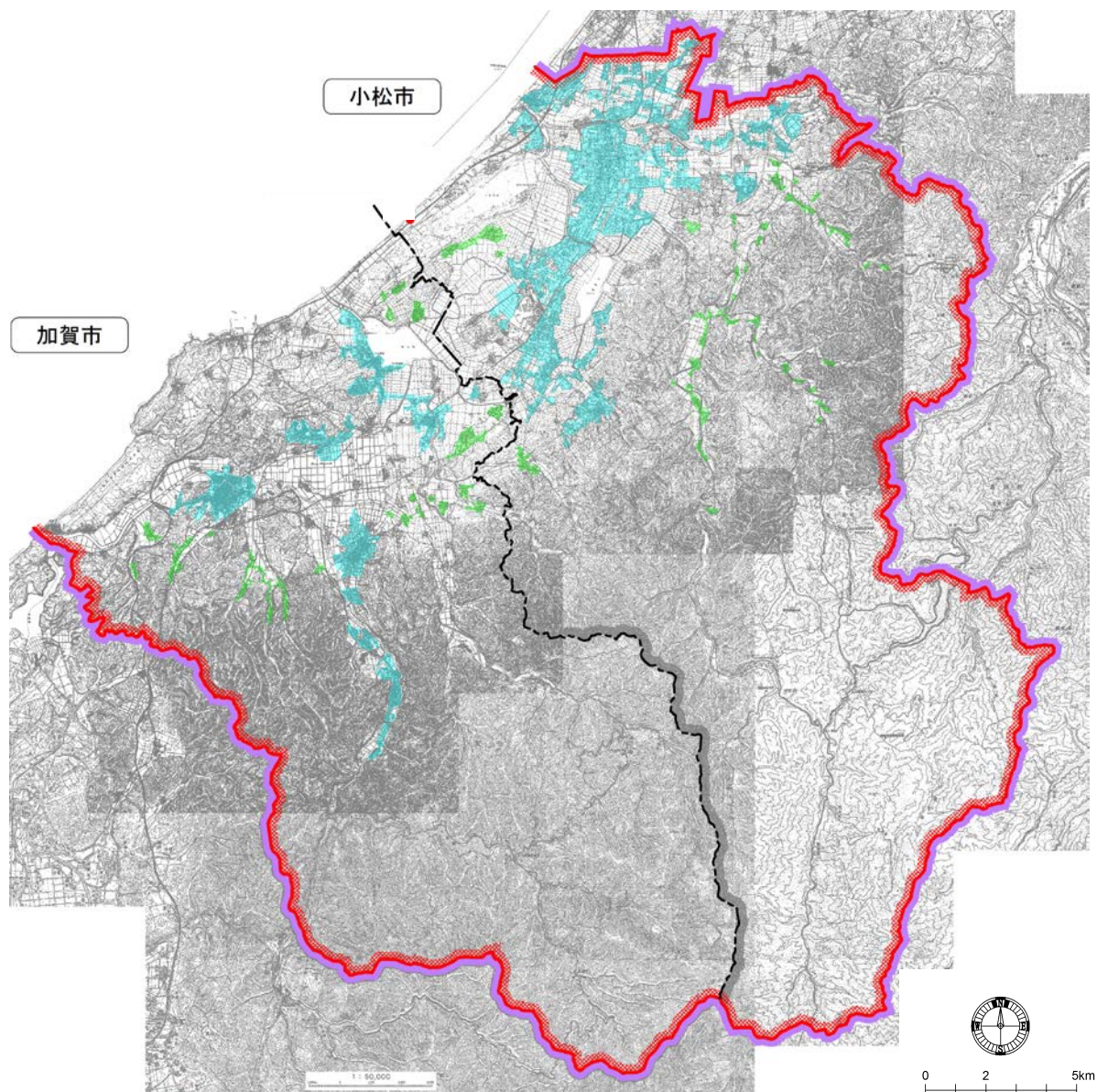
指標・単位		年	過去の状況・現状					目標
			平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 34 年度
総人口			179,635	178,422	177,611	176,918	175,929	170,230
公共下水道	汚水衛生処理人口		86,421	95,944	90,569	92,436	93,621	95,932
	汚水衛生処理率		48.1%	53.8%	51.1%	52.2%	53.2%	56.4%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口		11,444	12,113	11,269	10,774	10,696	12,617
	汚水衛生処理率		6.4%	6.8%	6.4%	6.1%	6.1%	7.4%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口		18,803	18,182	18,585	18,932	19,174	19,392
	汚水衛生処理率		10.5%	10.2%	10.5%	10.7%	10.9%	11.4%
未処理人口	汚水衛生未処理人口		62,967	52,183	57,188	54,776	52,438	42,289

※ 添付資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。(添付資料 4)

添付資料2 計画地内の施設の現況と予定（位置図）



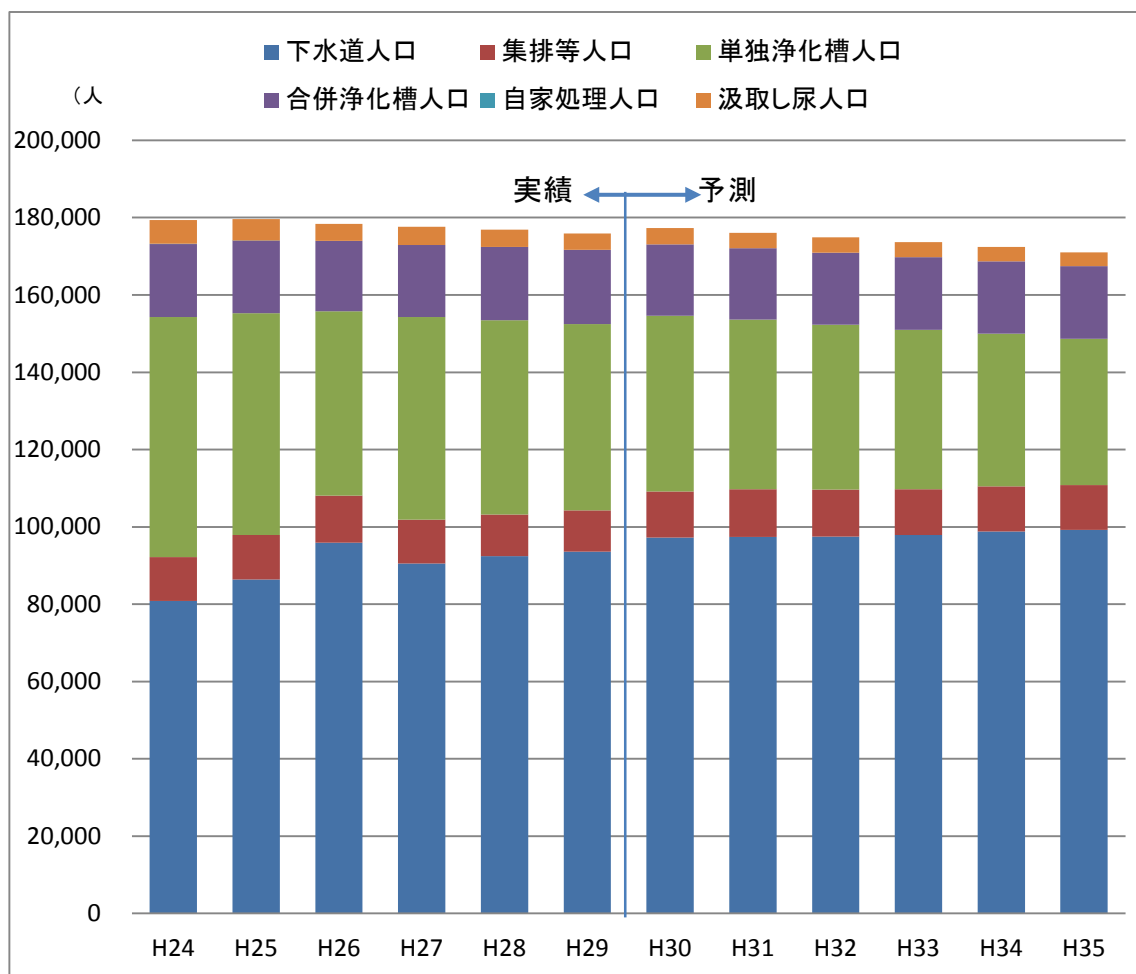
添付資料3 生活排水処理区域図



凡 例	
-----	行政区域界
▭ (purple border)	計画収集区域界(組合圏域)
▭ (cyan grid)	公共下水道処理区域(全体計画)
▭ (green grid)	農業集落排水施設処理区域
▭ (red grid)	合併処理浄化槽処理区域

添付資料4 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ

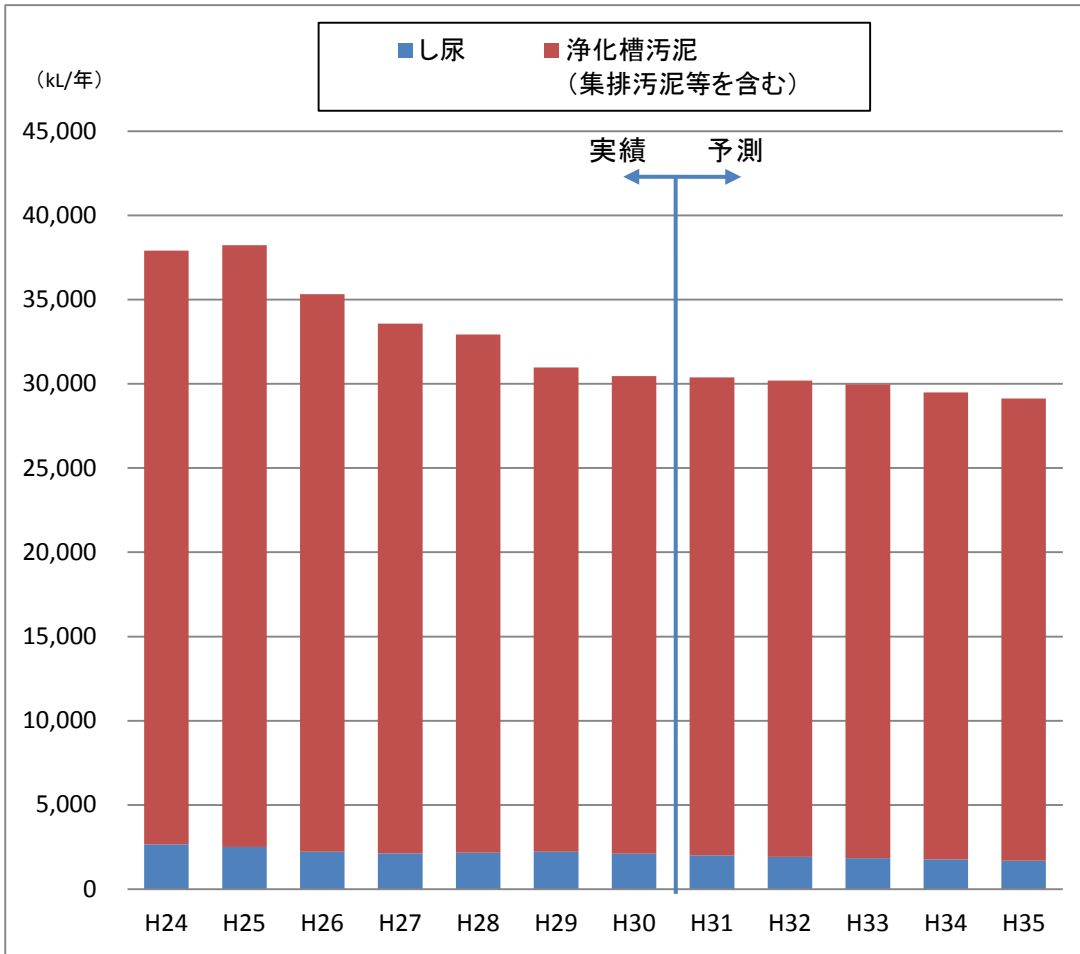
【生活排水処理形態別人口】



年度	下水道人口	集排等人口	単独浄化槽人口	合併浄化槽人口	自家処理人口	汲取し尿人口
H24	80,882	11,292	62,084	18,949	35	6,155
H25	86,421	11,444	57,405	18,803	30	5,532
H26	95,944	12,113	47,733	18,182	0	4,450
H27	90,569	11,269	52,483	18,585	0	4,705
H28	92,436	10,774	50,286	18,932	0	4,490
H29	93,621	10,696	48,149	19,174	0	4,289
H30	94,833	10,905	45,505	19,229	0	4,070
H31	95,357	11,572	43,077	19,285	0	3,866
H32	95,648	12,269	40,837	19,343	0	3,674
H33	95,932	12,617	38,786	19,392	0	3,503
H34	96,223	12,513	37,148	19,443	0	3,362
H35	96,516	12,408	35,506	19,496	0	3,221

【し尿等処理量】

単位：kL/年



単位：kL/年

年度	し尿	浄化槽汚泥 (集排汚泥等を含む)	合計
H24	2,654	35,257	37,911
H25	2,513	35,713	38,226
H26	2,226	33,104	35,330
H27	2,121	31,463	33,584
H28	2,157	30,780	32,937
H29	2,220	28,760	30,981
H30	2,116	28,336	30,452
H31	2,021	28,353	30,374
H32	1,919	28,265	30,184
H33	1,835	28,120	29,955
H34	1,763	27,733	29,496
H35	1,697	27,422	29,119

様式 2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成30年度)

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模		事業期間 交付期間		総事業費(千円)						交付対象事業費(千円)						備考		
			単位		開始	終了	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度			
○し尿処理に関する事業							2,802,270			0	500,209	2,000,837	301,224	2,271,610			0	443,322	1,773,288	55,000	
有機性廃棄物リサイクル推進施設整備 (汚泥再生処理センター)	1	小松加賀環境衛生事務組合	95	kL/日	H30	H33	2,802,270			0	500,209	2,000,837	301,224	2,271,610			0	443,322	1,773,288	55,000	
○施設整備に関する計画支援に関する事業							39,564	5,778	15,625	18,161				39,564	5,778	15,625	18,161				
汚泥再生処理センター整備事業に関する計画支援事業	31	小松加賀環境衛生事務組合	-	-	H28	H30	39,564	5,778	15,625	18,161				39,564	5,778	15,625	18,161				
合計							2,841,834	5,778	15,625	18,161	500,209	2,000,837	301,224	2,311,174	5,778	15,625	18,161	443,322	1,773,288	55,000	

様式 3

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画						備考
					開始	終了		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
生活排水対策の推進に関するもの	11	住民意識の高揚	家庭等からの汚濁負荷量の削減のために、ホームページ、パンフレット、ポスターや広報紙等で住民の排水処理に係る意識を高める。	小松市 加賀市	H 28	H 33		ホームページ、パンフレット、広報紙等による啓発						
	12	住民参加の生活排水処理対策を促進	廃食用油を回収する廃油ポット、三角コーナーや微細目ストレーナ、廃食用油を拭き取るキッチンペーパー等の有効手段を住民に周知し、生活排水処理対策を促進する。	小松市 加賀市 小松加賀環境 衛生事務組合	H 28	H 33		生活排水処理対策の周知・促進						
処理体制の構築、変更に関するもの	21	生活排水の適正処理の推進	公共下水道等の処理区域内での早期接続の指導及び接続率の向上、処理区域外での合併処理浄化槽の整備を促進する。	小松市 加賀市	H 28	H 33		早期接続の指導、接続率の向上 合併処理浄化槽整備の整備促進						
	22	汚泥の堆肥化再生利用	し尿処理の汚泥を汚泥再生処理センターで堆肥化し、再生利用する。	小松加賀環境 衛生事務組合	H 32	H 33								
処理施設の整備に関するもの	1	汚泥再生処理センター整備	し尿等を適正に処理し、汚泥の資源化及び有効利用を促進する。	小松加賀環境 衛生事務組合	H 30	H 33	○	建設工事						
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備計画 測量 地質調査 生活環境影響調査 発注支援・事業者選定 技術支援 	小松加賀環境 衛生事務組合	H 28	H 30	○	施設整備 計画	発注支援・ 事業者選定					
その他	41	浄化槽の適正な維持管理	適正な保守点検・清掃の実施、定期検査の受検等を浸透させる。	小松市 加賀市	H 28	H 33		保守点検・清掃の実施、定期検査の受検の指導						

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 石川県

(1) 事業主体名	小松加賀環境衛生事務組合
(2) 施設名称	衛生センター
(3) 工期	平成 30 年度～平成 33 年度
(4) 施設規模	95kL/日
(5) 形式及び処理方式	標準脱窒素処理方式＋高度処理方式
(6) 地域計画内の役割	し尿及び浄化槽汚泥（農集排汚泥を含む）等の適正処理の実施 処理過程で発生する汚泥からの資源回収と有効利用の促進 生活環境・水環境の保全
(7) 廃焼却施設の 解体工事の有無	なし
「汚泥再生処理センター」を整備する場合	
(8) 資源化の方法	肥料化
(9) 資源化物の利用計画	肥料 : 有機質資源として緑地還元する。
(12) 事業計画額	2,802,270 千円

【参考資料様式 7】

計画支援概要

都道府県名 石川県

(1) 事業主体名	小松加賀環境衛生事務組合		
(2) 事業目的	汚泥再生処理センター施設整備のため		
(3) 事業名称	汚泥再生処理センター整備に関する施設整備基本計画策定・発注支援業務	汚泥再生処理センター整備に関する測量業務	汚泥再生処理センター整備に関する地質調査業務
(4) 事業期間	平成 28 年度～平成 30 年度	平成 28 年度	平成 28 年度
(5) 事業概要	施設整備基本計画 見積仕様書作成 見積設計図書審査 発注仕様書 (要求水準書)作成 事業者選定支援 生活環境影響調査 技術支援 等	測量	地質調査
(6) 事業計画額	全体 : 35,158 千円 平成 28 年度 : 1,372 千円 平成 29 年度 : 15,625 千円 平成 30 年度 : 18,161 千円	平成 28 年度 : 2,484 千円	平成 28 年度 : 1,922 千円